



長野県の水害対策工事

写真は、長野県で施工いただいている、沢山川の堤防強化(天端舗装)工事です。

堤防天端を舗装することで、越水したときの堤体の浸食・洗堀を抑制すると同時に、降雨による堤防への水の浸透を抑制することで、舗装が無い状態よりも堤防が強化されます。

近年は、河川施設の許容量を超えるような災害が増えており、国や県、市では、河川整備による「流す」取組、降った雨が河川に流れる前に「留める」取組、水害に「備える」取組の3つを柱にした「流域治水」を推進しています。

地元住民の皆様も、いざというときの避難行動を決めておくマイタイムラインづくりや被災時に備えて物資を備蓄するなど、災害に対する意識を高めておくことが重要です。

「沢山川内水氾濫シミュレーション」の結果が示されました

令和2年度には、長野県議会へ沢山川の治水対策を求める請願書を提出し、7月3日の長野県議会本会議にて請願書が全会一致で採択されました。この請願を受けて長野県に実施していただいた「沢山川内水氾濫シミュレーション」の結果が示されましたので、お知らせします。

沢山川内水氾濫シミュレーションとは？

令和2年度の長野県議会への請願において当同盟会で要望した「沢山川堤防を千曲川堤防と同じ高さにする」との有効性を検証するため、令和元年台風当時の被害を再現して浸水原因を明らかにするとともに、もし沢山川がフルバック堤方式で整備済であった場合、被害はどのようになつたかをシミュレーションしたものです。

※フルバック堤方式とは、本川（千曲川）との合流点に水門・樋門を設けない代わりに背水区間を本川規模に応じた堤防構造とすることで支川（沢山川）の洪水流を自然流下できるようにした方式です。当同盟会で要望した「沢山川堤防を千曲川堤防と同じ高さにする」とができる方法として検討されました。

シミュレーションの結果

シミュレーションでは、現在の沢山川と、フルバック堤方式で整備した沢山川の2通りの条件で、令和元年東日本台風被害をシミュレーションしていただきました。シミュレーションの結果、令和元年東日本台風当時の沢山川の被害は、千曲川の水位上昇による影響が大きいたことが分かりました。つまり、土口水門を閉めることで沢山川の内水を排水できなくなるよりも、千曲川が逆流して沢山川の堤防から越水してしまった場合の方が被害が大きくなる、ということなのです。この結果は、たとえ沢山川がフルバック堤方式で整備されて、千曲川と同じ高さの堤防高になっていたとしても、令和元年東日本台風のような大きな出水の時には千曲川と同じ

ように堤防から越水し、より大きな被害になることを示しています。この結果を受け、長野県からは「千曲川と同じ高さの堤防の整備効果について検証した結果、現在のセミバック堤方式より被害が大きくなること」が判明したため、フルバック堤の整備は行わず、既存の堤防が破堤しないよう堤防強化を進めていきます。」との回答を得ました。

同盟会としての今後の方針

沢山川の内水氾濫シミュレーション結果を受け、同盟会では沢山川の更なる治水対策のため、臨時の役員会を複数回開催し、新たな要望項目を協議・決定しました。新たな要望項目は、今年度行つた令和3年度長野県への要望活動でもしつかりと要望しました。

新たな要望項目

1. 浚渫等の維持管理事業の更なる推進を要望します

2. 越水が起きても決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、「危機管理型ハード対策」としての更なる堤防強化を要望します

項目の説明:

堤防の法尻を強化するなどの対策により、破堤までの時間を引き延ばせるようにしてもらいたいという意味合いです。激甚化する災害の中で、堤防からの越水にも備えた対策を求めて要望しています。

3. 激甚化する自然災害に、より迅速、的確に対応できる体制づくりの整備を要望します

激甚化する水害に備える



沢山川水害対策促進期成同盟会
会長 小川 修一

日頃は、同盟会活動にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本期成同盟会は、平成14年に東部地区住民により発足した沢山川排水機場設置促進期成同盟会を前身として、平成28年からは沢山川水害対策促進期成同盟会として千曲市長が会長に就任し、地区住民の皆様のご理解、ご協力をもとに活動を続けてまいりました。

近年は災害が激甚化しており、令和元年東日本台風での被害も記憶に新しい中、昨年8月12日からの大雨でも、県内で72時間降水量が観測史上1位を記録する箇所が多数あるなど、記録的な大雨となりました。

そのような中で、沢山川沿川では新たに雨宮産業団地の造成工事が完了し、令和4年1月にはあんずの里保育園が開園するなど、治水対策の重要性が益々高まっていることから、本期成同盟会としても引き続き沢山川の水害対策を強く要望してまいります。

今後、東部地区の皆様が安全・安心に生活できるように、区民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

沢山川水害対策の要望事項

沢山川水害対策促進期成同盟会では3つの事項について長野県へ要望しました。

1 浚渫等の維持管理事業の更なる推進

毎年計画的に浚渫を行っていただいています。が、今後も引き続き、河川の流れを阻害しないよう維持管理をお願いします。

2 越水が起きても決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、「危機管理型ハード対策」としての更なる堤防強化

令和元年東日本台風では堤防より越水が発生しました。沢山川沿川には多くの施設等、住宅が建ち並んでおり、万一破堤が起こるとその被害は甚大なものと予想されます。市としても流域治水の考え方に基つき取り組みを行ってまいりますので、更なる堤防強化をお願いします。

3 激甚化する自然災害に、より迅速、的確に対応できる体制づくりの整備

もし被災をしたとしてもより迅速、的確に復旧・復興を行い、一日でも早く住民が安心を取り戻せるよう、人員等の災害に備える体制の充実をお願いします。

令和3年度 沢山川水害対策促進期成同盟会役員名簿 (敬称略)

顧問	荒井 武志 (県議会議員)	理事	飯島 繁 (雨宮代理区長)
顧問	竹内 正美 (県議会議員)	理事	柳町 政美 (土口代理区長)
相談役	倉島 さやか (市議会議員)	理事	久保 和則 (生萱代理区長)
相談役	田中 秀樹 (市議会議員)	理事	北澤 信隆 (森東代理区長)
相談役	林 慶太郎 (市議会議員)	理事	西村 将雄 (森西代理区長)
参加者	和田 英幸 (市議会議員)	理事	湯本 孝一 (倉科代理区長)
会長	小川 修一 (千曲市長)	理事	岡川 勝 (前土口区長)
副会長	鎌田 幸男 (雨宮区長)	理事	島田 正敏 (前生萱区長)
副会長	米澤 修一 (土口区長)	理事	湯本 永一 (市建設部長)
理事	島田 政喜 (生萱区長)	監事	近藤 公憲 (前森代表区長)
理事	竹内 勝士 (森東区長)	監事	倉島 正雄 (前倉科区長)
理事	近藤 豊 (森西区長)		
理事	近藤 進 (倉科区長)		

事務局 千曲市建設部建設課事業推進係内

令和3年度 事業計画及び予算

令和3年度事業計画

住民が安全・安心に生活するため、次の事業を行ってまいります。

1. 漏水箇所の補修や堤防天端の舗装等による粘り強い堤防の整備、浚渫等の維持管理事業の更なる促進、および沢山川堤防を千曲川堤防と同じ高さにすることについて、長野県へ要望を行う(当初)。
2. 会報などで活動状況の提供。
3. その他、必要に応じ本会の目的を達成するための諸活動

令和3年度収支予算

収入合計	211,006円
支出合計	211,006円
差引	0円

収入の部 (単位:円 △印:減)

項目	本年度 予算額	前年度 予算額	増減	備考
負担金	134,070	132,950	1,120	雨宮三地区 1,285戸×70円 森二地区 653戸×40円 倉科地区 450戸×40円
繰越金	76,936	69,012	7,924	
合計	211,006	201,962	9,044	

支出の部 (単位:円 △印:減)

項目	本年度 予算額	前年度 予算額	増減	備考
会議費	20,000	20,000	0	総会等
事務費	30,000	30,000	0	事務消耗品・ 郵送料
活動費	130,000	130,000	0	会報発行・ 要望活動
予備費	31,006	21,962	9,044	
合計	211,006	201,962	9,044	

令和2年度 事業報告及び決算報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和2年度事業報告

令和2年

- 6月22日 長野県議会へ請願書の提出
- 7月30日 第19回定期総会
 1. 令和元年度事業報告及び収支決算
 2. 令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)
 3. 役員改選(案)
 4. 負担金のお願い(案)
 5. 要望書(案)
- 9月23日 沢山川水害対策に関する勉強会
- 12月18日 長野県へ要望書の提出

令和3年

- 3月 1日 会報第16号の発行

令和2年度収支決算書

収入合計	200,492円
支出合計	123,556円
差引	76,936円 (次年度へ繰越)

収入の部 (単位:円 △印:減)

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	増減	備考
負担金	132,950	131,480	△1,470	雨宮三地区 1,229戸×70円 森二地区 654戸×40円 倉科地区 452戸×40円
繰越金	69,012	69,012	0	
雑収入	0	0	0	
合計	201,962	200,492	△1,470	

支出の部 (単位:円 △印:減)

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	増減	備考
会議費	20,000	6,984	△13,016	総会等
事務費	30,000	9,480	△20,520	郵送料
活動費	130,000	107,092	△22,908	会報発行・ 要望活動
予備費	21,962	0	△21,962	
合計	201,962	123,556	△78,406	

関係帳簿及び証拠書類を詳細にわたり監査したところ
正確であることを認めます。

令和3年4月6日

監事 宮坂 陸三

監事 岩佐 正幸

令和3年度活動報告

① 第20回定期総会開催

令和3年7月6日、千曲市役所において、第20回定期総会を開催しました。

議事では、令和2年度事業報告・決算報告及び、令和3年度事業計画・収支予算・役員改選等について審議決定しました。

議事の承認後、千曲建設事務所長へ沢山川水害対策に関する要望書を提出しました。



定期総会の様子

② 勉強会開催

令和3年9月27日、千曲建設事務所において、同盟会の役員をはじめとする東部地区関係者と千曲市の担当者を対象に、沢山川に関する勉強会を行いました。

長野県から、令和元年東日本台風当時の沢山川の浸水状況を把握し、フルバック堤方式の効果を検討した「沢山川内水氾濫シミュレーション」の結果を説明していただきました。また、堤防天端の舗装工事や親水公園付近の漏水調査結果の説明をしていただきました。



勉強会の様子

③ 臨時役員会

勉強会で県から説明いただいた「沢山川内水氾濫シミュレーション」の結果を受

け、沢山川のより効果的な治水対策を要望するため、臨時の役員会を開催し、新たな要望項目を決定しました。同盟会の会長、副会長、事務局を中心に、10月26日、11月24日の2回開催しました。

④ 長野県へ要望書を提出

令和4年1月18日、同盟会顧問の荒井武志県議・竹内正美県議にご同行いただき、同盟会の会長である小川千曲市長が代表して、沢山川水害対策に関する要望書を、長野県の田下建設部長へ提出しました。

本年度の要望活動は新型コロナウイルスの急速な拡大を受け、オンラインで実施しました。



長野県への要望(オンライン)

